



地域社会のために59年
人と地域をつなぐ
日本と世界に広がるネットワーク。

The network to spread
all over the world
until now and from now.

青年会議所とは？

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本の青年会議所(JC)運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(日本JC)が設けられました。

現在、日本全国に青年会議所があり、「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

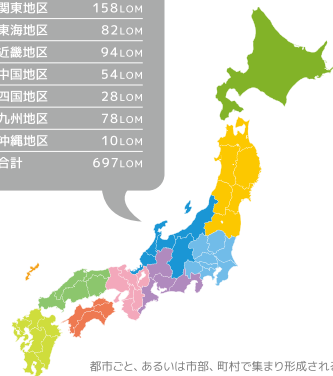
青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

1915年アメリカの小さな青年活動グループが起源の本団体は、今や会員数26万人以上の世界で最も大きな青年団体です。さらに現役メンバーに加え約250万人以上ものOBがいます。毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

青年会議所は、これからも青年の熱き情熱と行動力を持って、発展向上を遂げ、さらなる歴史を築きあげてゆきます。

各地の青年会議所

北海道地区	48LOM
東北地区	77LOM
北陸信越地区	68LOM
関東地区	158LOM
東海地区	82LOM
近畿地区	94LOM
中国地区	54LOM
四国地区	28LOM
九州地区	78LOM
沖縄地区	10LOM
■合計	697LOM



全国会員数

34,000名以上

※日本・2015年7月現在

3つの信条



三つの信条「修練・奉仕・友情」のもと、よりよい社会づくりを目指して、地域活性化、地域教育、防災などの社会的課題に取り組んでいます。

青年会議所は、「人の心身」をみがく団体です。色々な方法で勉強して、会社や組織にフィードバックします。



青年会議所は、地域社会の発展を考え、教育問題、防災事業などにも取り組んでいます。



青年会議所の仲間、日本に約34,000名、そして世界133ヶ所に約16万人います。

4つの機会

必要な指導力、社会的責任、起業家精神及び友情を深める為、青年に機会を与えることによって地域社会の発展に寄与することが目的です。

1 個人の機会

人間力開発の様々な研修プログラムや活動の中で自己啓発をする機会があります。



2 地域の機会

地域社会との関わりができ、社会奉仕活動をする機会があります。



3 国際の機会

JCIのメンバーとして、世界会議やASPACなど、世界と交流する機会があります。



4 ビジネスの機会

日本全国、世界各国のメンバーと出会うことで、ビジネスが広がる機会となります。





創立59年 加古川青年会議所

一般社団法人加古川青年会議所は、昭和33年11月20日に、38名の志高き青年によって、日本で151番目の青年会議所として設立されました。ここではまちづくりやひとづくりを目的とした例会をはじめ、地域の発展を目指した数多くのイベントを催しております。例会では、それぞれの月にテーマを設け、目的に沿った内容で行います。主催事業に関しましては、昨年度では養護学校との交流や中学生議会、ミュージックフェスティバルなどがあります。加古川青年会議所が主催である加古川ツーデーマーチと合わせて、各地域のポイントに中学生の吹奏楽が奏でられて街が青少年の情熱とその音楽によって彩られました。一昨年には第48回ブロック大会加古川大会が開催され、和と地域の魅力座談会では、岡田市長、日岡啓司、吉田住職より地方創生における私たちの地域のあり方について議論を深めたり、千玄室氏をお招きした基調講演では、戦後70年という節目の年に次代に向けて日本人の伝統文化、そして和の精神について語っていただきました。

9つの委員会 特別室

2017年度、加古川青年会議所には9つの特別室や委員会があります。役割分担された各ユニットによって、より効果的に事業や活動を計画・実施・報告し、青年会議所運動を展開していきます。

まちづくり

市民の一人ひとりが加古川市・播磨町・稲美町への愛着と誇りを更に持って頂けるような街を目指して活動しています。

ひとづくり

会員個人の成長はもちろんのこと、理想的な親と大人や将来を担う子ども達のための事業を行っています。

組織づくり

加古川青年会議所の組織を活性化させ、会員のスキルアップや資質向上に向けた活動を行います。

あなたの人生とわたしたちの街をより明るく豊かにするために。

青年会議所は、日本と世界に広がるネットワークがあり、各地域で活動をする仲間との出会いや、地域社会に貢献する機会に溢れています。加古川青年会議所において、共通した理念のもと熱い使命感と情熱をもって、40歳までの同世代と切磋琢磨しながらまちづくり、ひとづくり、組織づくりを行うことで、深い友情が育れます。そうした同志との絆や広い人脈、地域のリーダーとしての資質は、ビジネスのみならず人生そのものを必ずや豊かにします。皆さまで共に和を貴び衆知を集めながら地域の先頭に立つて活動できることを心より楽しみにしております。

2017年度スローガン **日本の心を学ぶまちづくり** ～和を貴び衆知を集めよう～



前川 桂恵三 Maekawa keizo

加古川青年会議所
第59代理事長

加古川青年会議所
2017年度公式ウェブサイト(理事長所便)

入会前の気になる疑問・質問 現役会員に聞きました！

Q1

JCの魅力とは？



田中 良平
・企業経営者
・不動産会社勤務

数多くの修練するチャンス場があり、まちの事について考え、組織としての在り方を学ばせていただいております。会社の運営に携わる経営者・幹部の方は特に加古川市、播磨町、稲美町の方々は人生の財産を積み上げられる場所です。

Q4

女性も入会
できますか？



寺岡 さつき
・専業主婦
・業種不詳

もちろん可能です！男女問わず、街のことや、ボランティア活動をするのは関係ないと考えています。意見を出し合い一生懸命取り組めば、しっかり評価もされますよ！JCの事業をさらに広めるために我々、女性の活躍はなくてはならない存在です！

Q2

どんなメンバ
ーがいますか？



安東 大祐
・会社員
・IT企業勤務

業種は多種多様で、建設業・不動産・法務関連・サービス業・医療などに携わっているメンバーが在籍しており、個人事業主から従業員数百名規模の大企業の方もいます。中は会社員の方も社会貢献の一環として入会している方もいます。

Q5

入会して
よかったことは？



角根 健二
・会社員
・建設業勤務

私にとって、一番よかった事は異業種の方と色々な見方で意見を出し合い仕事はもちろん、人脈がすごく増えました。私生活でも家族ぐるみでの出会いもありますし、困った時には助け合える、一生の仲間ができる場所です！

Q3

時間がないの
ですが...



自分なりに、できる範囲でJCに関われば良いと思います。私も最初は、時間を作れなかったですが、時間を作るのも経営者や幹部としての仕事であると教わりました。委員会もありますので、一人で悩まず仲間がサポートしてくれますよ。

Q6

お金はどれくらい
かかりますか？



入会や年会費は規約に定められている通りですが、月に1万円が会費となっています。メンバーの会費が我々の事業の活動費となるので、私も許容範囲で活動ができています。お金で買えない人脈と素数な成長の場がありますよ！

入会について

入会までの流れ

前 期	後 期
ご説明 (2017年1月～)	ご説明 (2017年2月末～5月)
入会説明会 (2017年2月)	入会説明会 (2017年5月)
準会員として活動 (2017年3～5月)	準会員として活動 (2017年6～8月)
正会員として活動 (2017年6月～)	正会員として活動 (2017年9月～)

入会資格

- 年齢が20歳以上、40歳未満であること
- 品格ある青年であること
- 加古川市・播磨町・稲美町周辺に在住または勤務先、活動エリアがあること

費 用

- 前かり金(準会員承認時):30,000円
- 年会費(前期):70,000円 (後期):40,000円
- 入会金:60,000円(周年事業費5万円・JC会館建設など準備金1万円)
- 建設協力協力金:100,000円(加古川商工会議所への保証金 卒業・退会時返金)

新規会員募集中

こんな方はぜひご入会を！

自分の能力を
磨きたい！



～修練～

様々な研修で自己向上をサポート

社会、企業が機能し何かを成しえるためにはリーダーが必要不可欠です。青年会議所は自己を磨き、次代を担うリーダーの育成を行っています。

地域に
貢献したい！



～奉仕～

様々な事業による地域貢献を実現

地域の活性なくして自らの生業が栄えることはありません。地域社会を開発し、発展させることが青年会議所のテーマです。

人脈を
広げたい！



～友情～

全国のJCメンバーとの交流

加古川青年会議所メンバーだけに留まらず、兵庫県、全国の青年会議所メンバーとの交流により広く人脈を築くことができます。また、交流のある他団体の方々との人脈も広がります。

加古川青年会議所で得られる「能力」と「人脈」はきっと次代へとつながります！

青年会議所は明るい豊かなまちづくりのために、次代のリーダーとなる20才から40才までの青年が集まる団体です。そのネットワークは世界中に拡がり、人種・国籍・性別・職業・宗教の区別に関係なく個人が居住する地域の青年会議所に入会することができます。あなたも自身の住む街や働く街での青年会議所活動に是非ご参加ください。入会に関するお問い合わせは加古川青年会議所事務局まで。

加古川青年会議所 事務局
TEL:079-423-3076

2017年度 役員・メンバー紹介

役員

理事長	前川 桂恵三	前川建設(株)	建設業
副理事長	松井 隆文	まつい司法書士事務所	司法書士

副理事長	木下 武彦	木下商事(株)	不動産販売・不動産管理
	藤野 大輔	Dining Bar Harness	飲食業
	松本 賢二	ワコー	一般機械販売・修理業

専務理事	橋本 直	(株)ユニテン	化粧品・美容用品販売・小売業
監事	上田 隆久	えんゆう(株)	飲食・小売業
	柴田 壮平	ジャーツーン(株)	電気通信業

長期ビジョン特別室

特別室長	藤本 幸平	(有)ウッズ	設備設計・修理・施工
次長	内田 雄大	C.B.S 2FACE	自動車板金塗装
書記	森良 樹よしよし		飲食業
	喜橋 さつき	(株)扶桑玉師	宝飾業

事務局

局長	吉原 隆	(株)吉原建設	建設業
次長	藤原 広明	(株)藤原保険事務所	保険業
書記	永戸 潤	(株)ライフクリエイト	保険代理店業
	関 拓也	(有)優坊	葬儀業
	松岡 誠	(株)マツオカ	建設業・一般土木
	飯本 大輔	(株)アイ・ソシアス	介護・福祉の相談

広報総務委員会

委員長	原田 哲	和宏ベンダー(株)	小売・卸売業
副委員長	松下 伸介	松下伸介税理士事務所	税理士
運営幹事	高橋 裕也	TK 高橋建築	建設業
委員	岸本 貴弘	弘和建設(株)	総合建設業・人形焼
	佐古井 俊勢	(有)鴻一建材	建設業
	谷村 武志	谷村総業	総合建設業

交流委員会

委員長	中田 桂太郎	(株)YK商會	運料・販売・運送用品販売
副委員長	今津 大介	イマツ庭芸(株)	造園工事業
運営幹事	中右 裕美	(株)美広社	屋外広告業
委員	岩下 泰弘	アレーズ・ホーム	建築業
	大庭 伸昭	コンホームズ(株)	建設業
	岡室 俊輔	kitchen'sなや	飲食業

渉外委員会

委員長	松野 剛	大山建設機械自動車合名社	産業機械販売・運送業
副委員長	中村 亮太	加古川市議会議員	
運営幹事	橋本 洋一	(株)リアライブ	保険業
委員	知屋誠 貴祐	(株)S.D.A	自転車関連産業
	寺崎 博哉	正木司法書士事務所	司法書士

研鑽委員会

委員長	藤原 竜司	(社)カリスタの里	介護職
副委員長	中川 誠貴	中川工業	プラント工事
運営幹事	長谷川 佳生	(社)加古川市社会福祉協議会	社会福祉士
委員	岸本 順吉	ソニー生命保険(株)	保険業
	玉川 昇造	(有)タマワコーポレーション	自動車関連産業
	前田 陽平	(株)マエダフーズ	食品販売業

会員拡大委員会

委員長	矢根 和紀	(株)YANESEKO	医療業
副委員長	田中 良樹	(株)タナカレイダ	空調設備
運営幹事	宮永 敏英	(株)プロトワークス	飲食・アパレル業
委員	安東 大起	トビ・ワタの工房イデアスタジオ	陶器・コンクリートデザイン
	灰木 康裕	丸大青果(株)	青果卸売業
	加藤 真也	(株)かとう住研	不動産業
	宮本 了介	(有)味季料理りんど	飲食業

観光戦略委員会

委員長	岡田 陽平	(株)加古川製作所	機械製造
副委員長	松本 達人	デザイナーズあかりらく	介護・福祉業
運営幹事	荒川 晋吾	シン塗装	一般建築塗装
委員	井上 泰弘	オートサービスノウエ	自動車関連産業
	杉本 裕紀	六甲瓦産業	建設業
	鈴木 勝博	井瀬士人建築・山土合資	建築業
	竹内 有佑	竹ノ路設計事務所	税理士

次世代教育委員会

委員長	大谷 裕彦	(株)御座屋	林士・製材・カーテン業
副委員長	岡 毅	兵庫県議会議員	
運営幹事	西海 仁	(株)西海園油店	酒類販売
委員	永光 宏史	asahi dental	歯科技工士
	松本 兼市郎	新興自動車	自動車関連産業
	森 由利	森工務店	建設業



Junior Chamber International **Kakogawa**
一般社団法人 加古川青年会議所

〒675-0064 加古川市加古川町満之口800 加古川商工会議所会館5階
TEL | 079-423-3076 | Mail | master@kakogawa-jc.org
FAX | 079-423-3728 | URL | http://kakogawa-jc.org/

